

浴室・トイレ・洗面所用
〈屋外設置式 フード一体形ファン〉

三菱パイプ用ファン

形名 **V-08PPR2**

お客様用 取扱説明書

お客様自身では据付けしないでください。(安全や機能の確保ができません)

- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- 添付別紙の「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口のご案内」とともに保管してください。

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません、またアフターサービスもできません。
 This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
 No servicing is available outside of Japan.

1. 安全のために必ず守ること

●図記号の意味は、次のとおりです。



●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告	誤った取扱いをしたときに、 死傷や重傷などに結びつく 可能性のあるもの	注意	誤った取扱いをしたときに、 軽傷または家屋・家財などの 物的損害に結びつくもの
	●ガス漏れに気付いたときは、換気扇(電気器具その他)のスイッチの入切や電源プラグの抜き差しをしない 爆発・引火の原因。		●本体に異常な振動が発生した場合は使用しない 本体・部品の落下によるけがの原因。
	●製品に直接水やお湯、かび取剤などをかけない ショート・感電の原因。		●直接炎があつたり、油煙の多い場所や有機溶剤のかかる場所には据付けない。また、使用しない 火災の原因。
	●改造や分解はしない 火災・感電・けがの原因。 修理はお買上げの販売店または「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」にご相談ください。		●塩害・温泉害の発生しているところには据付けない。また、使用しない 本体・部品の落下によるけがの原因。
	●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合は、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが、電気的に接触しないよう据付ける 漏電・発火の原因。		●運転中は羽根の中に指や物を入れない けがの原因。
	●交流100Vを使用する 直流や交流100V以外を使用すると感電の原因。		●据付けやお手入れの際は手袋を着用する 着用しないとけがの原因。
	●異常・故障時には、直ちに使用を中止する 発煙・発火、感電、けがの原因。 《異常・故障例》 本説明書末尾の「愛情点検」をご参照ください。		●部品の据付けは確実に 落下によるけがの原因。
	●お手入れの際は電源プラグを抜くか分電盤のブレーカーを切る 感電・けがの原因。		●本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実に 落下によるけがの原因。
	●外気取入口は、燃焼ガスなどの排気口より離れた位置に設ける 室内の酸欠の原因。		●電気工事は電気工事士の方が電気設備の技術基準や内線規程に従って安全・確実に 接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因。
			●室内側に必ず吸込口(グリル)を据付ける
			●長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜くか分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。

2. 各部のなまえ

裏面の据付け説明書「2. 各部のなまえと外形寸法図」をご確認ください。

3. ご使用にあたってのお願い

- 換気扇設置場所で中性以外の洗剤や消毒剤などを頻りに使用すると寿命が短くなる場合があります。
- お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください(中性洗剤をご使用ください)。
シンナー、アルコール、ベンジン、ガンソリン、灯油、スプレー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザーなどの研磨材入りの洗剤、殺菌剤、消毒剤など(異常音の発生、変質、変色、塗装はがれの原因)

4. 使用方法

運転は壁のスイッチで運転開始と停止を行います。
 (スイッチの設置がされていない場合は、本体電源プラグの挿抜。)

5. お手入れ

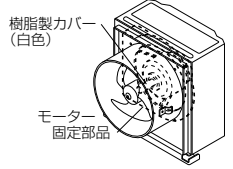
安全にご使用いただくために、必ず定期的な点検(年1回程度)を行い、フード内のほこりつまりのひどい場合は清掃を行ってください。

点検項目	
●異常音や振動がないか?	●製品の据付け状態は正常であるか?
●製品各部に著しいサビや塗装の浮きなどがないか?	
●シール材、コーキング材に亀裂など、劣化していないか?	
※点検の結果、異常が見つかった場合は、修理・部品(製品)の交換をお買上げの販売店、工事店に依頼してください。	

●長い間ご使用の換気扇は、使用上支障がなくても安全のための点検(「愛情点検」を参照ください)をお願いします。

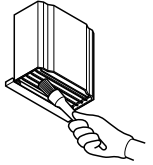
警告

- モーター軸の樹脂製カバー(白色)は絶対に抜いたり、傷付けたりしないでください(感電やけがの原因)
- フード内部のモーター固定部品に水をかけないでください(ショートや感電の原因)
- お手入れの際は電源プラグを抜くか分電盤のブレーカーを切る(感電・けがの原因)



清掃

- フードの汚れは、ぬるま湯(40℃以上)に浸した布をかたくしぼってふいてください。フードの汚れのひどい場合は、薄めた中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り、洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取ってください。
- 吸込口・ギャラリに付いたほこりは、ブラシなどで落としてください。
※金属のブラシ等、硬いブラシを使用すると、傷・サビの原因となりますので使用しないでください。



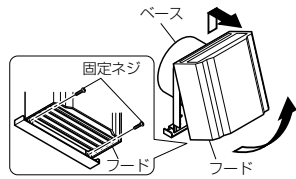
お願い

- 洗剤などをご使用の場合は中性洗剤をご使用ください。
- お手入れの際、モーター・羽根に衝撃を与えたり、モーター固定部品に無理な力をかけないでください。(故障や異常音発生の原因)

- フードは取りはずすこともできます。
フード内部の汚れのひどい場合は、掃除機等で吸い取ってください。

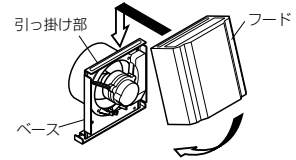
1. フードのはずしかた

- フード下部にある2本のフード固定ネジをはずし、フードを手前に持ち上げてはずす。
※ネジは着磁したドライバーに付かないため、紛失に注意してください。



2. フードの据付け

1. フードをベース上部の引っ掛け部に引掛け、元通り据付ける。
※1.4N・m以下の締付トルクで締め付けてください。
2. 据付け後、次の確認をする。
(1) フードが確実に据付けられていますか。
(2) 異常な音が出ていませんか。
(必ず運転をして確認してください)



6. 修理を依頼する前に

●次のような症状があれば点検してください。点検・処置をしても直らない場合、または下記以外の現象が生じた場合は、事故防止のため分電盤のブレーカーを切り、お買上げの販売店または、工事店にお申しつけください。

こんなとき	原因	点検・処置
スイッチを入れても羽根が回転しない	電源プラグがコンセントに差し込まれていませんか 分電盤のブレーカーが切れていませんか	差し込みます 「入」にします
運転中に異常音や振動がする	フード・ベースが確実に据付けられていますか フード・モーター固定部品にほこり・異物がつまっていますか 吸込口(グリル)にほこりがつまっていますか	据付け直します 清掃します
吸い込みが弱い	外風の影響にて発生する可能性があります	無風状態で確認します
羽根が逆転する、回転が遅い、または不規則		

●モーターの軸受は回転がなじんで時間が経つにつれ、音が変わることがありますが異常ではありません。

7. アフターサービス

ご不明な点や修理に関するご相談は、お買上げの販売店かお近くの「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口のご案内」(別紙)にご相談ください。

- ※別紙チラシが不明な方は下記窓口にお問い合わせください。
■平日 9:00~12:00 13:00~17:00 (土・日・祝・弊社休日以外)
 換気送風機技術相談センター 電話 0120-726-471
- その他の時間**
 お客様相談センター 電話 0120-139-365

長年ご使用いただくためには換気扇のメンテナンスが必要です。モーターは消耗部品です。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このパイプ用ファンの補修用性能部品を、製造打切り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

8. 仕様

形名	周波数(Hz)	消費電力(W)	風量(m³/h)	室外騒音(dB)	室内騒音(dB)	質量(kg)
						0.9
V-08PPR2	50	5.9	75	34	36	
	60	6.4	90	39	40	

※特性はJIS C 9603に基づく。ただし、室内騒音は壁厚100mm、給排気グリルP-13GLs(別売)組み合わせ時の無響室における、室内側給排気グリル正面、左右1mの騒音値の平均値です。

愛情点検		☆長年ご使用の換気扇の点検を!	
	ご使用の際このようなことはありませんか。	●壁スイッチを入れても羽根が回転しない。 ●運転中に異常音や振動がする。 ●回転が遅いまたは不規則。 (モーターはメンテナンスが必要な部品です) ●こげ臭いにおいがする。 ●本体据付け部に腐食、破損などがある。	使用中止 故障や事故防止のため、電源を切って必ず販売店にご連絡ください。点検、修理に要する費用は販売店にご相談ください。
お客様メモ	形名 V-08PPR2	お買上げ年月日	年 月 日
サービスを依頼される時便利です。	お買上げ店名(住所) (電話番号)	()	()
この製品には地球環境保護の一環として再資源化ができるように主なプラスチック部品に材質名を表示しています。 (材質名は主材料にISO) 規定の略号を使用。			

